

# 議会

# だより

# いながわ い

第146号

平成25年(2013年)2月1日

発行:兵庫県猪名川町議会



地域主権改革関係条例を整備 2

学童保育民間委託から直営方式へ 7

一般質問 8人が町の考えを聞く 9

追跡 あの質問 その後は 13

おいしそう!

(つつしが丘幼稚園 もちつき大会)

# 地域主権改革 関係条例を整備

## 受理した請願

収用に伴う猪名葬祭事務所兼葬儀会館建設断固反対について

◎請願者 南田原自治会長  
(付託委員会)生活建設常任委員会

### 趣旨

建築案件は自治会及び周辺住民に大変支障をきたす建築物であり、収用建築物の再度調査と収用証明書の見直しを強く議会として申し述べてほしい。

### 討論

**反対** 収用及び建築許可権限は兵庫県にあり、本町議会として権限に属する事項ではない。

**賛成** 収用証明の発行は疑問を持つところである。本請願を採択し、収用に伴う再度の調査をしていただきたい。

**結果** 不採択(賛成 4・反対 9・欠席 2)

## 会計別の補正額

会計	補正額	補正後の総額
一般会計	4,186万円	93億4,897万円
国民健康保険	2億8,327万円	32億4,188万円

### 討論

平成23年度後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算

**反対** 後期高齢者医療制度に反対。高齢者の年齢による差別を解消すべく本制度を廃止し、老人保健制度に戻すべき。

**賛成** 一般会計から2億7900万円の繰り入れにより、本町の役割と責任において堅実な取り組みがされている。  
(賛成12・反対2・欠席1で認定)



保証人基準が緩和される町営住宅

## 第363回 12月定例会

第363回12月定例会を12月10日から21日までの12日間開会し、専決処分1件、24年度補正予算2件、条例制定5件、条例改正9件、人事案件2件、指定管理者の指定1件、議員提出議案3件を審議し、いずれも原案どおり承認・可決した。また、23年度一般会計並びに5特別会計の各会計決算を認定したほか、請願1件を不採択とした。

## 議案の審議結果 ※全員が賛成の議案は、表示していません。

議案名	議員名															
	池上哲男	石井洋二	加藤郁子	久保宗一	合田共行	下神實千代	下坊辰雄	西谷八郎治	仁部壽夫	肥爪勝幸	福井澄榮	丸山純	南初男	宮東豊一	安井和広	山田京子
12月定例会 議案第44号	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月定例会 請願第4号	○	●	●	●	欠	●	○	●	欠	●	○	●	○	●	○	●

○…賛成 ●…反対 ※議長は採決に加わらないため「-」で表示

(議員名は50音順で表示)

**一般会計補正予算**  
歳入では、地方特例交付金として130万円減額したほか、地方交付税として8千920万円を増額。歳出では、予防接種や健診検査委託料を増額。

### 条例制定

**留守家庭児童育成室条例**  
町内小学校の余裕教室などを利用して留守家庭児童育成室を設置し、放課後児童育成事業の拡充を図る。また、土曜日開設に向けた取り組みをする。  
他4件

### 条例の一部改正

**町営住宅管理条例の一部改正**  
公営住宅法の一部改正により、町営住宅への入居の基準及び入居手続きにおける保証人の基準を緩和するため。

**火葬場条例の一部改正**  
火葬場の使用件数の増加に伴い、町内に居住する者の使用機会の改善を図るため。  
他7件

### 人事案件

**教育委員会委員**  
任期満了に伴う教育委員会委員の選任に同意。  
福西堅固さん

**公平委員会委員**  
任期満了に伴う公平委員会委員の選任に同意。  
福永忠秋さん

### 公の施設の指定管理者を指定

猪名川町B&G海洋センターIIエス・アンド・エス共同事業体(株)エス・キューブ、日本ビルサービス(株)大阪支店

詳細はインターネットで「猪名川町議会」を「検索」「議会の記録」をご覧ください。

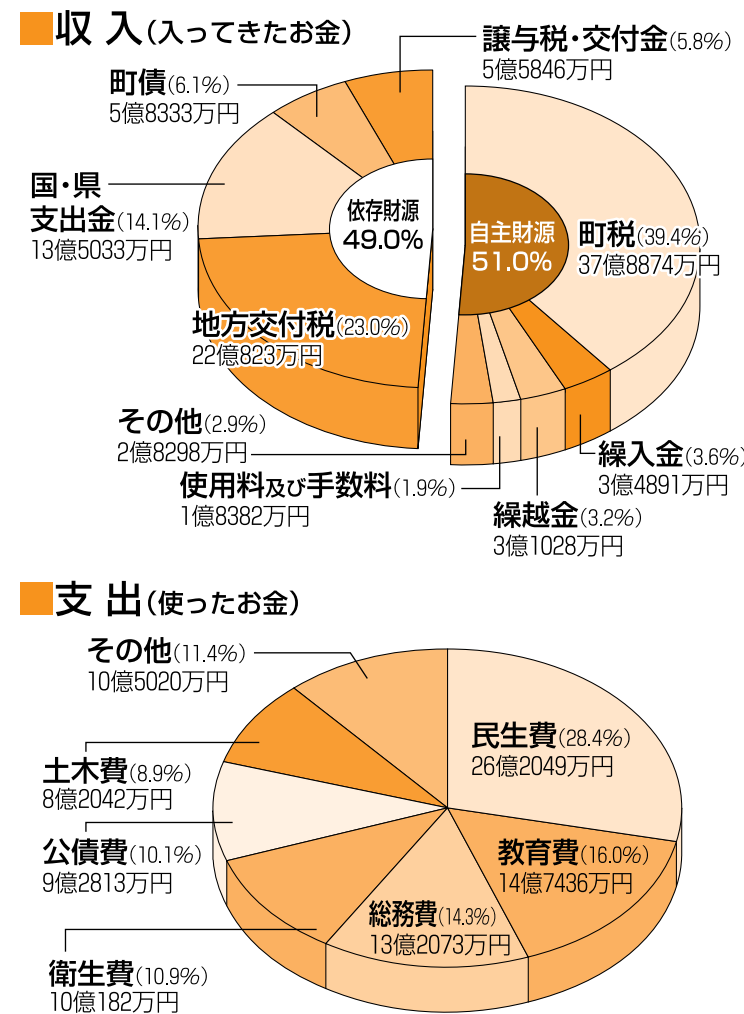
平成23年度各会計（上下水道事業会計を除く）決算は、各常任委員会で延べ4日間にわたり審査し、認定した。

# ふるさと応援寄附金 大幅UP

23年度 各会計別決算状況

会計区分	収入	支出	収支差引残額
一般会計	96億1508万円	92億1615万円	3億9893万円
特別会計			
国民健康保険	31億147万円	28億5077万円	2億5070万円
介護保険	16億6097万円	16億2794万円	3303万円
後期高齢	5億1359万円	5億572万円	787万円
農業共済	3567万円	2207万円	1360万円
奨学金	341万円	321万円	20万円
合計	149億3019万円	142億2586万円	7億433万円

一般会計(収入・支出)の内訳



## インターネット上でサイト登録し効果大

### 総務

総務文教常任委員会

町ホームページへのアクセス件数は、年間約150万回の実績。  
 ふるさと応援寄附金記念品費が、昨年と比べ大幅に増えているが、来年度も期待できるのか。  
 インターネット上でサイト登録し、啓発したことで大きな効果があった。今後さらに研究を重ね、寄付が増えるよう取り組むたい。

不納欠損は何件あったのか。  
 合計77件あり、内訳は競売3件、破産13件、財産なし43件、倒産1件、生活保護5件、居所不明12件であった。

交通量調査を2年に1度委託しているが、調査結果をどのように活用しているのか。また道の駅周辺の渋滞への対策はあるのか。  
 調査結果は道路建設や信号設置のための資料としている。渋滞については川西警察と協議をしていきたい。

緊急雇用創出事業で

主な質疑

### 一般会計

「不納欠損」  
 破産や倒産などの理由で、今後も納付の見込みがないため徴収できないと決定されたもの。

### 教育

臨時職員として退職職員1名を充てているが、どのような職務実績があったのか。  
 学校指導員という形で、退職した学校長を採用した。14学校園を訪問し、各種問題の把握や解決に向けた支援をする。いじめ問題についても、学校長との連携により、実態把握や解決に向け取り組んでいる。  
 オータム・ウィンズ・コンサートは、今後も継続していくのか。  
 コンサートが終わるごとに、学校顧問も含め反省会を実施し、継続的な実施など今後の方向性

### 消防

自主防災組織の育成という観点では、どのような考えがあるのか。  
 自主防災組織は自治会単位で組織され、最近では、防災訓練をまちづくり協議会が行っている。  
 平成23年4月から宝塚市、川西市、猪名川町の広域的な指令業務にかかる消防指令センターが宝塚市に開設され、高額の負担金が使われているが、本町のメリットは何か。  
 2市1町消防指令センターの開設と同時に、出動指令業務にかかる機器がグレードアップした。

### くらし

自動販売機設置契約を、全庁的に1つの所管課にまとめる増収にすると考えられるか。  
 設置業者が異なるため、統一については個々の契約を検証し、収入増につながるよう考えたい。  
 ごみ収集ルート？コース中、3コースを委託しているが、全コース委託にできないのか。また直営4コースの収集料はいつからかってくるのか。  
 直営4コースの委託化は、職員の年齢などを考慮し検討する。費用はおよそ1億4千万円。

### まちづくり

臨時職員を採用し、不法投棄の対応をしているが、活動内容と効果は。  
 不法投棄防止の監視や廃棄物の回収を行っており、年々廃棄物は減少傾向にある。

### 観光

大野山観光資源整備にかかる決算額が多くなっているが、銀山などの観光整備も必要でないか。  
 大野山関連の決算額は、観光資源整備だけでなく、管理運営経費も含まれている。銀山にも  
 新設され、多くの人が施設を利用しサービスを受けるようになったため、介護給付費が伸びている。  
 道の駅いながわにテナントを設置したが、いつまで町が投資するのか。  
 小規模な改修は指定管理者である(株)いながわフレッシュパークが行い、大規模な改修については町が行う。(全会一致で認定)

主な質疑

特別会計

総務文教常任委員会

奨学金

Q 貸付金の元金収入は返還計画に基づき返済されているのか。

A 借りている側の人が計画を立て、返済している。社会経済情勢にも影響され、年度によっては収入の増減はあるが、今後も返済が遅れないよう取り組む。

(全会一致で認定)

生活建設常任委員会

国民健康保険

Q 不納欠損や収入未済にならないよう現年で徴収すべきと考えるが。

A 現年の納付については納め忘れを防ぐため、口座振替を推奨している。

また、平成22年度からはコンビニ収納を行い、納めやすい体制を整備している。

Q 滞納者を数回訪問しても会えない場合は、どのような対応をしているのか。

A 本人と接触できない場合は被保険者資格証明書を発行する。面談をして事情などを把握できれば短期被保険者証を交付する。

介護保険

Q 認定基準の見直しにより要支援者が増えたと思うが施設入所の人数は。

A 施設利用者数は、介護老人福祉施設97人、介護老人保健施設60人、介護療養型医療施設54人となっている。

後期高齢者医療保険

Q 後期高齢者医療制度そのものについて、町としてどう考えているのか。

A 社会保障制度改革国民会議で検討中であり、国の制度のため町としては現状を維持していく。(農業共済特別会計についても審査。後期高齢者医療保険特別会計は賛成5・反対1・欠席1で認定。その他はいずれも全会一致で認定)

ひとくちメモ

短期被保険者証  
保険税を滞納した場合に、通常の保険証の代わりに交付される有効期間が6カ月と短い保険証のこと。  
被保険者資格証明書  
保険税を滞納した場合に、被保険者であることの資格を証明するもので、医療費はいったん全額自己負担となる。

お知らせ

あなたも議会・委員会を傍聴しませんか

町議会では、身近な問題などを議論しています。

まちづくりを一緒に考えてみませんか。

傍聴の手続きは簡単で、当日、議会事務局で傍聴受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。

(議場20名、委員会室10名まで)

24年度 定例会の日程(予定)

\* 3月定例会

- 25年2月25日(第1日)
- 3月4日(第2日)
- 3月6日(第3日)
- 3月26日(第4日)

※議事の都合により変更することがあります。

議会基本条例の先進地を視察

11月26日 播磨町

平成24年4月より議会改革に取り組んでいる議会改革検討協議会は、議会基本条例の制定に向けて、先進地の視察を行いました。

第77回町村議会広報研修会に参加

10月29・30日 シェーンバツハ・サボー(東京都)

議会広報特別委員会は、より一層わかりやすい議会だよりにするため、3人の講師から文章の構成や、写真撮影の方法などの研修を受けました。



写真の撮影方法の講義

平成24年度議会広報研究会に参加

11月27日 パレス神戸

(株)兵庫ジャーナル社代表取締役黒岩英孝さんから「読みたくなる議会広報をつくる」をテーマに講義を受けました。

## 総務文教

# 学童保育 民間委託から直営方式へ

## ～土曜日保育の実施も～



現在、民間委託で運営している学童保育「すくすくクラブ」(白金小学校内)

12月11日、委員会を開会。付託4議案を審査。主な質疑は次のとおり。

**一般会計補正予算**

① 人件費の人事異動による補正とはどのようなものか。

② 24年1月末時点の人員で予算化しており、4

月1日の人事異動に対応するための補正である。

③ 教育ネットサーバー移設費を12月補正する理由は何か。

④ 情報ネットサーバーと統合し管理することにより、2名のシステムエンジニアにかかる経費を

削減できるからであり、今回の補正は、新年度予算の経費削減につながる。

**留守家庭児童育成成室条例の制定**

⑤ 民間委託から直営に変更する大きな理由は。

⑥ 民間委託では、緊急対応などでも指導員に対し、学校・教育委員会側からは直接指示できない。直営で運営することにより指導員との連携がスムーズとなるほか、教育委員会において児童の安全を確保するという理由により委託から直営に変更する。

⑦ 土曜日開設は町全域にわたる要望か。

⑧ 保護者会の自主的なアンケートに基づく要望である。

⑨ 土曜日育成料を月額3千円とした積算根拠は何か。

⑩ 近隣市は土曜日を開設しているところが多く、育成料は月々土曜日で9千円前後。現在、本町は月々金曜日の利用で5千円で、これに土曜日の育

成料3千円が加わると合計8千円となり、他市の育成料とほぼ同水準となる。

⑪ 週に1、2回程しか利用していないケースがあるが、フルタイムで働く人を優先すべきでは。

⑫ 連続して2カ月を超えて利用がない場合は、退所への働きかけを行い、利用率の低い人は利用日数を考え、その保護者と協議しながら運用を工夫していきたい。

⑬ その他、学校設置等に関する条例の一部改正、B&G海洋センターの指定管理者の指定についても審査し、いずれも全会一致で可決

# 委託料を1018万円増額

## 予想を上回る受診に対応

12月12日、委員会を開会。付託14議案を審査。主な質疑は次のとおり。

### 一般会計補正予算

**Q** 予防費の予防接種委託料で多額な増額の要因は。また補正で増額するのではなく、当初に予算化すべきでは。

**A** 接種期間が長いため、人数が予定しにくい。当初予算は過去の実績を見て予算化しているが、予測を上回った。

**Q** 南丹・北摂地域鳥獣被害防止対策負担金の補正の理由は。

**A** 国費で実施した事業で平成23年度で終了したが、24年度も継続されたことにより、補正で対応した。

**指定地域密着型サービスの事業の人員・設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定**

**Q** 調理師を配置する考えはないか。

**A** 以前より職員が兼務している。

**廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正**

**Q** 放置された死獣として処理後に飼い主がわかった場合の規定がないが。

**A** 現状において事例はない。今後事例が出てきた場合に検討していきたい。

### 火葬場条例の一部改正

**Q** 町内・町外の利用率の現状は。また、炉の状況により火葬を遅らせるような状況はあるのか。

**A** 町外の利用率は40%程度。1炉は町内優先として確保しており、火葬を遅らせる状況にはならない。

**都市公園条例の一部改正**

**Q** 公園の階段の幅や高さについての考えは。

**A** 手すりを設ける記載はあるが、古い公園では対応できないため、リニューアル時に検討したい。

**町営住宅管理条例の一部改正**

**Q** 地域のサービスを高めるため、自立性・自主性について議論はしたのか。

**A** 改正部分以外の議論は特にしていない。

**Q** バリアフリーの部屋に高齢者が優先的に入居していくべきだが、条文には規定しないのか。

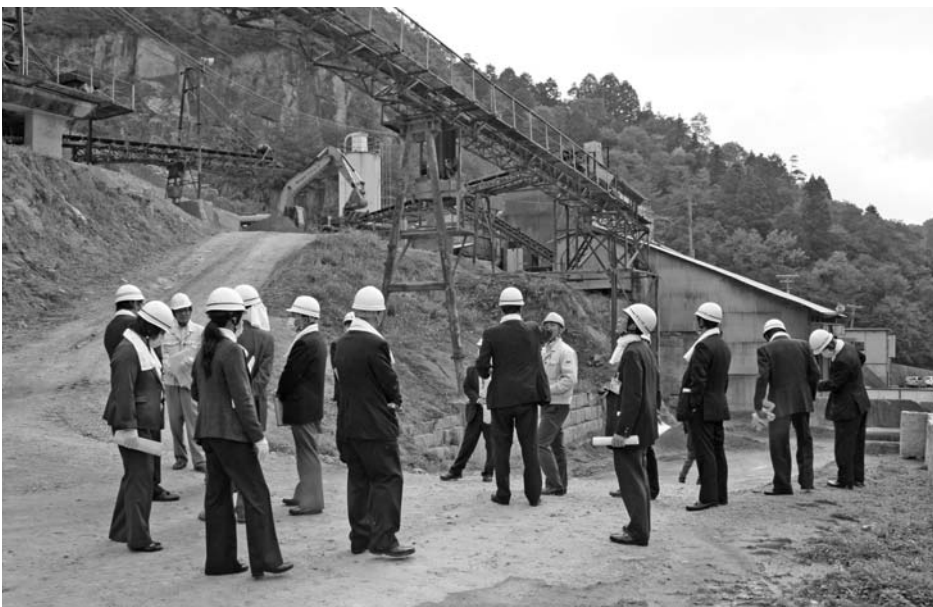
**A** 募集要項に示しており、条文には記載しない。(町道路の構造の技術的基準等を定める条例の制定・清掃事業施設の設置及び管理に関する条例の一部改正など8議案についても審査。いずれも全会一致で可決)

### 請願一件の審査を実施

収用に伴う猪名葬祭事務所兼葬儀会館建設断固反対についての請願 (賛成1・反対5・欠席1で不採択)

### 11月9日委員会を開会

「公共土木施設の計画的整備について」公共残土処分地を現地調査。



残土を改良土にリサイクルする建設副産物受入施設 (委員会視察)

生活建設

# Q 成年後見人制度の周知はどうか

## A 次年度に研修会を開催する予定



下神 實千代議員

本町における成年後見人制度利用者は何人で、どのような人が利用されているのか。

**生活部長** 地域包括支援センターにおける平成23年度の成年後見人制度に関する相談は11件。そのうち家庭裁判所への後見申立て手続きの支援は3

件。将来的に増えることを考える。

市民後見人は何人で、今年度の後見人養成講座や養成支援の実施は。

**生活部長** 町単独では困難と考え、近隣市へ打診したが、講座数や日数が多いため、今年度は実施できない。

制度の相談や手続き方法など、不安の対応は。また広報以外に町民に周知できているか。今後、研修会開催など、どのようにしていくのか。

**生活部長** 高齢者は地域包括支援センターで、障がい者は障害者相談支援センターで相談を受け付けている。不安を安心にかえる成年後見人制度啓発のパンフレットを全戸配布し、周知した。次年度、民生委員・児童委員を対象に、制度の研修会を開催する予定。



後見人制度の手引

# Q 防災対策に女性目線の反映は

## A 女性委員を登用することは重要



加藤 郁子議員

防災対策として女性の視点から必要な対策を把握し、計画に反映していくためには、女性委員を中心とした提案組織が必要と思うが。

**総務部長** 防災会議の委員に女性を登用することは、男女共同参画の意味からも重要事項の一つ。女性・障がい者・高齢者の視点を積極的に反映させる体制づくりを検討する。

救命講習の普及に対しての取り組みは。

**消防長** 今年度から乳児・小児に特化した心肺蘇生講習会を開始。また心

肺蘇生・AEDの短時間講習や、自宅で応急処置を学ぶインターネットを利用したウェブ講習を開催している。

町内で防犯上問題があるような箇所に防犯カメラを設置する考えは。

**地域振興部長** 特定の場所に設置するのは困難。自治会が独自で設置の場合、補助する考えは。

**地域振興部長** 町には補助事業はないが、県には地域見守り防犯カメラ設置補助事業がある。

その他の質問  
・町公用車のラインと青色回転灯の目的と意味



応急手当WEB講習  
ホーム > 目的別インデックス > くらし > 消防 > 救急 >  
応急手当WEB講習で応急手当を学びましょう



合田 共行議員

## Q 職員の住居手当廃止をなぜしないのか

A 現在も、町職員組合と交渉している

平成19年議員就任後、20年9月に職員の人材育成重視型体系の人事諸制度、9月に賃金・諸手当、22年3月に給与体系と評価制度、23年3月に人事賃金体系と諸手当の見直し、6月に住居手当と日当の廃止、そして24年3月にも同様な考えのもと、人事賃金体系などについて問題提起を重ねた。その中、住居手当については、「廃止の方向で検討する。」と回答を得たが、未だ実施されていない。労使交渉は何回したのか。

総務部長 データは今、

### 地方公務員の自宅に係る住居手当について

全地方公共団体の約6割の団体（1,015団体/1,794団体、56.6%）が、自宅に係る住居手当を廃止している。

国においては、平成21年に自宅に係る住居手当が廃止されており、総務省としては、地方公共団体においても、廃止を基本とした見直しを行うことを助言している。

### 自宅に係る住居手当の状況（平成23年4月1日時点）

区分	制度がない団体	経過措置を設けている団体	制度が残っている団体	区分別団体数
全 団 体	1,015団体 (56.6%)	83団体 (4.6%)	696団体 (38.8%)	1,794団体
都道府県	16団体 (34.0%)	7団体 (14.9%)	24団体 (51.1%)	47団体
指定都市	3団体 (15.8%)	1団体 (5.3%)	15団体 (78.9%)	19団体
市町村	996団体 (58.4%)	75団体 (4.4%)	634団体 (37.2%)	1,705団体
特別区	0団体 (0.0%)	0団体 (0.0%)	23団体 (100%)	23団体

※割合は、区分別団体数に対するものである。

総務省ホームページより

手元がない。今後交渉を継続することは組合と確認している。本年3月の代表質問で、町長より住居手当は廃止すると回答を得ているのに、町長の意向を無視した対応ではないか。

総務部長 無視は一切していない。廃止の方向で引き続き職員組合と交渉を重ねる。

〈その他の質問〉

- ・出張日当及び諸手当の廃止・見直し
- ・がん検診の充実策、不妊治療費・不育症治療費助成の導入



要望が高まる町内救急搬送施設の整備



宮東 豊一議員

## Q 町内で救急搬送先を確保すべきでは

A 診療時間外の救急対応は難しい

住み続けてもらつまちづくりには医療の充実が欠かせない。本町の長期的な医療体制のビジョンは、生活部長 医療体制の整備は本町単独で対応できるものではなく、広域的な対応が必要。今後も県下ブロックごとの医療関係団体出席のもと開催される協議会などで、更な

る充実に向けた意見・要望を続ける。

民間医療施設を中心に町内で救急患者の受け入れ先を確保すべきでは。

生活部長 町内では、診療時間内の病気やけがの治療などは受け入れてもらえるが、時間外の救急対応は難しい。また、救急医療機関は、厚生労働省の定める基準や条件がある。体制整備には大変な負担が伴うことから、現状での取り組みは困難と考える。

第二次日生ニュータウン予定地の利用は、企業誘致ではなく医療施設や大学などが望ましいが。

企画部長 医療施設や大学は人口流出抑制、地域経済活性化につながる。本町もそうに希望しているが、各種インフラ整備が必要。



## Q 中小企業振興条例の制定を

### A 今後は必要かと考える



池上 哲男議員

中小企業は事業所数で99%、従業員数で7割を占め、地域に密着し、社会的に重要な役割を果たしている。また、災害時には大きな力になる。しかも、売上金は町内で循環する。継続可能な行財政運営のためにも中小企業振興条例を制定する自治

体が増えてきている。本町でも検討すべきでは。

**地域振興部長** 中小企業のパワーこそが、まちづくり・地域活性化に欠かせないとされている。町総合計画にも位置づけ、商工会への支援をしており、現在のところ新たな条例の制定は考えていない。

条例制定に至らなくとも、継続可能なまちづくりの視点から、企業・行政・住民の3者による協議の場づくりも必要ではないか。

**地域振興部長** 本町も就業者が減少し、農業でも担い手が不足してきている。総合計画の検証の中では、今後はできるだけ町内に住み続けてもらえる施策、提案のような活性化の具体的な手立てを立ち上げる必要があるかと考える。



にぎわった第1回いながわ桜まつり

## Q 近隣トンネルのメンテナンスを早急に

### A 宝塚土木事務所に調査・点検を依頼する



福井 澄榮議員

中央道の笹子トンネルが崩落し、9人が亡くなった。173号線のトンネルで、水や砂が落ちていたり、箇所があり、心配。早急にメンテナンスを。

**まちづくり部長** 国土交通省から都道府県、市町村へと緊急点検するよう指示が来ている。宝塚土木事務所に調査・点検を依頼し、安全確保に努める。

**プリンタメーカー6社が実施しているインクカートリッジリプログラムプロジェクトを全国の自治体や郵便局などが導入し**



国道173号線のトンネル

ている。また、仕分け作業をしている作業所は、障がい者雇用のモデル事業として活動しており、環境保護団体への寄付もしている。本町でも参画を。

**まちづくり部長** 各公共施設での設置を検討していく。

森林の有効利用、石油などを子や孫に残すためにも、パレットストープ購入の助成を。

**まちづくり部長** ペレットの需要拡大のため、ポイラーの設置助成も含め、検討する。



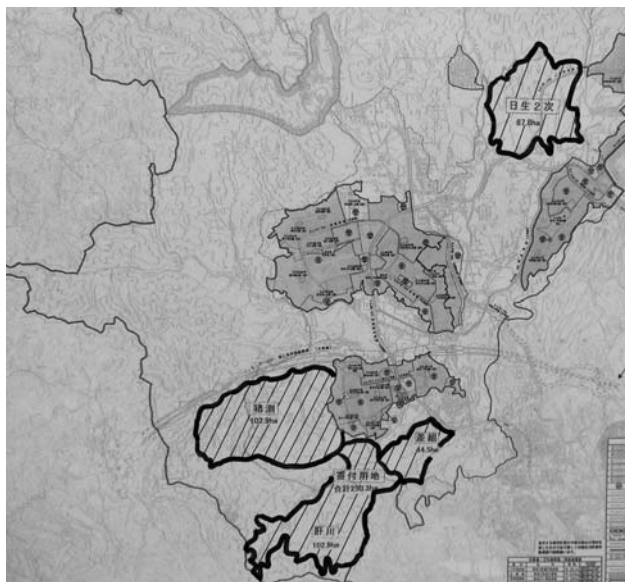
丸山 純議員

**Q 全町あげて企業誘致を**

**A 今後も効果的な土地利用に取り組む**

**本町には企業誘致する土地はどの程度あるのか。**  
**企画部長** 寄付された猪漕などには250haの土地、寄付予定の内馬場などには87・8haの土地がある。民間活力による利用などを期待したい。

**本町の組織内に企業誘致の専門チームを作る考えはあるのか。**  
**企画部長** 専門チームは職員の状態から見て難しい。議員や住民からも情報を期待する。



町に寄付または寄付予定の土地

**今現在防犯灯と街路灯は何台設置されているのか。**  
**地域振興部長** 防犯灯が5700台で、道路照明灯は793台である。

**防犯灯や街路灯を早期にLEDに変更すべきではないのか。**  
**地域振興部長** LEDは15台にすぎないが、すべてをLEDに変更すると約2億4千万円かかる。耐用年数がきた器具から地域と協議して順次交換していく。



介護予防事業「元気アップ教室」に参加する高齢者（ゆうあいセンター内）



久保 宗一議員

**介護支援ボランティア活動は、ポイント制度による国の推進事例があり、メリットとして保険料負担が軽減でき、蓄積ポイントで介護サービスが利用できる。このような事業は展開できないか。**  
**生活部長** 全国で34団体以上が実施している。ボ

**Q ポイント制介護支援で保険料軽減策を**  
**A 有償の抵抗感はあるが今後検討したい**

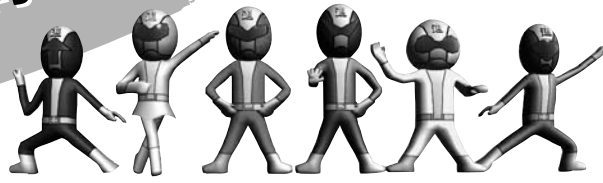
**介護支援ボランティア活動は、ポイント制度による国の推進事例があり、メリットとして保険料負担が軽減でき、蓄積ポイントで介護サービスが利用できる。このような事業は展開できないか。**  
**生活部長** 介護の社会化は、介護保険制度の理念である。家族のみで悩み疲れ、結果的に虐待という悲しいケースにならないよう、訪問相談などで早期発見に努め、地域全体で予防していく意識を啓発する。

**外出支援策の強化として、介護タクシーに対する助成などは検討できないか。**  
**生活部長** 現在、町内1社の福祉有償運送事業者の登録会員制度が利用できるが、助成は距離的な条件などから実施できない。

ランティアに対する有償性、とりわけ介護分野に特化した事業展開に抵抗感はあるが、今後検討したい。

介護や看病に関し、家族が支えなければならぬという社会的風潮に対する本町の支援策は。

# いながわ 追跡調査隊 追うレンジャー



過去に行われた一般質問のその後を追跡調査隊「追うレンジャー」が調査しました。第20回のミッションは、次の2つの質問のその後です。

## 「道の駅いながわ」の加工品・特産品の充実は

**質問** 平成22年6月定例会

「道の駅いながわ」では端境期には農産物が品薄となるが、加工品・特産品の充実は。

**答弁** 新たな加工品の販売にも取り組んでいる

「道の駅いながわ運営協議会」を設置し、新たな加工品の販売にも取り組んでいる。

**認定商品は増加 PRを積極的に図る**



特産品のしいたけ

現在、特産品認定商品は161点あり、少しずつではあるが、増えている。PRなどを今後積極的に図っていく。

## 「住宅用火災警報器」設置の啓発は

**質問** 平成22年6月定例会

本町の火災発生抑止のため「住宅用火災警報器」設置を啓発すべきだが。

**答弁** 設置率は6割 さらに啓発に取り組む

現在の設置率は6割。地域単位での共同購入推奨など、今まで以上に啓発に取り組む。

**現在**

**一部設置を含めると 8割の設置率に**

自治会や行事ごとに機器の設置を推進した結果、義務設置場所に約7割の家庭が機器を設置。一部設置を含めると約8割の設置率となっている。

# 新春を迎え ごあいさつを申し上げます



三矢の儀式  
(民田)

猪名川町議会

議長

南

副議長

西谷

議員

池石加久合下下仁肥丸宮安山  
上井藤保神田坊部爪山井東田  
哲洋郁宗共實辰壽勝澄豊和京  
男二子一行千代雄夫榮純一広子  
(50音順)

## こどもたちの声



十ねんごのじぶんへ

白金小学校 一年 岡本 彩里

いま、わたしはピアノカとつたをがんばっています。ピアノ力はれんしゅうしたらきれいにひけるし、うたは、すきだからです。十ねんこのわたしは、かぞくを大じにしていますか。おとなになっても大じにしてください。



### 俳句に挑戦!

阿古谷小学校 六年

初吹雪 姿をかくす

三草山 村上 あずさ

冬になり こたつの上は みかん山 田中 麻結

ストーブに 友達集まり 女子会た 森口 玲

霜柱 朝日をあびて 光ってる 田中 宏太郎

## 編集後記

総選挙が終わりましたが、今回の選挙は「わかりにくい」の声が多く、前回比1千万人もの方が棄権し、200万票もの無効票が出ました。猪名川町議会は「町民に見える議会」となるよう、議会改革に取り組んでいます。

「いながわ議会だより」もわかりやすい紙面づくりに取り組んできました。そして今回、再び県コンクールで優秀賞を受賞しました。

これからもさらに良い紙面づくりに目指しますので、本年もご愛読をお願いいたします。

## いながわ議会だより『優秀賞』

県田議会議長会広報紙コンクールにおいて、「いながわ議会だより(第143号)」が最高の賞である優秀賞を受賞しました。



議会広報特別委員会のメンバー



いながわ議会だより(第143号)

